

厚生労働省・地域創生人材育成事業・EV人材育成コース  
2019年度次世代トランスポーターセッションR&Dアカデミー

募集要項（二次募集）

本講座は、地域企業と共に次世代モビリティに関する課題を設定し、「いわてEVアカデミー」受講者又は県内外の企業技術者を主な対象とし、研究や試作開発能力の向上を目指す実践的講座です。一関工業高等専門学校がメンターとして加わり、企業技術者や学生、関連機関との共通テーマを設定し、知識・技術を実践的に学びます。修了者の出口として、企業技術者はEV関連産業への進出や雇用創出等、高専生や大学生はEV及び関連メーカーへの就職といった効果に繋がることを目指しています。

1. 募集課題（申請分野）

次の想定分野に該当する「次世代モビリティに関する課題」を選定して応募下さい。

想定分野

- ①次世代EVのコンセプト設計、要素設計
- ②次世代EVの制御・通信技術開発
- ③次世代EVの機械加工技術開発
- ④次世代EVのバッテリー関連技術開発
- ⑤次世代モビリティの熱・流体・エネルギーに関する試作開発
- ⑥その他

2. 応募対象者

岩手県を中心とした企業技術者（求職者を含む）、連携教育機関教員 等

3. 実施期間

2019年9月から2020年2月末まで

応募締切：二次募集 8月2日(金)公募開始（〆切：8月23日(金)）

4. 実施場所

一関工業高等専門学校各研究室、参画企業及び参画機関 等

## 5. 応募形態および経費

①応募対象者は、本校教員をメンターとして選定してください。

参考) 下記の教員総覧から、一関高専シーズ集及びResearchmapを検索して下さい。

<https://www.ichinoseki.ac.jp/tehc/teacher.html>

※メンターのマッチングを希望される方は、事前に事務局へご相談ください。

テーマを基に本校教員を紹介し、両者の合意があった場合に応募を支援いたします。

②採択件数は2件程度を予定しております。一次募集で3件採択済

一関高専の学生の参画を推奨しますが、参加人数については採択後に調整をお願いすることがあります。

③いわてEVアカデミーを受講された方を優先的に採択します。

④講座に要する経費について

100万円以内/件を限度に、本校にて負担いたします。

(上限額を超えての応募は、認められません。)

### 支出できる費目 (例)

- A. 試作材料 (部品を含む)
- B. 書籍・論文等文献 (研究論文、専門書籍等)
- C. 研究消耗品
- D. 計測装置のレンタル費用等
- E. 事務的消耗品等 (送料含む)
- F. 施設利用料 (分析依頼を含む)

※購入は本講座で使用するものに限りません。

※パソコンやOA機器、カメラ、ソフトウェア等の購入は原則リース対応となります。

※人件費や学生などへの謝金は支出できません。

※本校関係者との打合せ等の旅費は支出できません。

## 6. 応募方法

①「課題申請書」を作成し、テーマなどを本校教員と連絡および調整した上で、事務局へ送付してください。

※本校教員とのマッチングから希望される方は調整の為、8月21日(水)までに「マッチング申請書」を事務局へ提出してください。

マッチングができた場合に「課題申請書」を提出していただきます。

②1名あたり1件のみ応募可能です。複数件の応募は、認められません。

③必要な場合は関係者で秘密保持契約を結んでいただきます。

④実施計画等は、実施報告会（1時間）を入れ、計：60時間相当を目標にお願い致します。

⑤予算申請内訳については調整をお願いすることがあります。

応募書類：課題申請書（エクセルファイル）

※ 計画書の枠や文字サイズの変更は認められません。

応募〆切：二次募集分 **2019年8月23日(金)**

提出先：一関工業高等専門学校 「地域創生人材育成事業」事務局

エクセルファイルをE-mail にて提出してください。

・計画書を受領後、整理番号を通知します。

送信後、二日後（土日祝、8月13日～16日を除く）までに通知がない場合は問い合わせてください。

・応募書類に不明な点があった場合には、申請者へE-mail にて問い合わせします。

## 7. 選考方法

学内会議において、実施計画書に基づいて、実施内容を検討・全体調整を行った上で、校長が採否を決定します。

## 8. 実施報告等

実施計画書と実施記録および最終報告書を提出していただくと共に、実施報告会での発表（来年2月下旬開催予定）を行っていただきます。

## 9. その他

1) 本講座に関する情報は一関高専ホームページに掲載しますが、事前に掲載の許可を伺うことがあります。

2) 注意事項等につきましては、別紙：「R&Dアカデミー2019 予算執行について」をご覧ください。

3) 昨年度、R&Dアカデミーへ参画した企業が今年度も申請を行う場合、昨年度と同人物（認定証授与者）を申請者（申請代表者）とすることはできません。

4) 本年度の申請につき、一次・二次と同企業で申請することはできません。

### 【事務局】

独立行政法人 国立高等専門学校機構

一関工業高等専門学校

担当：千葉由美子

〒021-8511 岩手県一関市萩荘字高梨

TEL：0191-24-4745 FAX：24-4798

E-mail：yuumiko@ichinoseki.ac.jp